

ATM用 TCP ゲートウェイ、衛星インターネット用 TCP ゲートウェイ

国際 ATM 網や衛星インターネットなどのような、広帯域で遅延の大きな回線上で、WWW サーバアクセスやファイル転送を行う場合、TCP (Transmission Control Protocol) のフロー制御によりスループットが制限され、広帯域回線のメリットを生かせなくなる。そこで、1994 年 (平成 6) に、国際 ATM 回線の両端に TCP のフロー制御のみを終端することにより、高速な通信を実現する「ATM 用 TCP ゲートウェイ」を開発した。本システムは AT&T との ATM トライアルに使用され、その有効性が確認された。また、衛星インターネットの場合は、遅延の大きな衛星回線がアクセス手段として用いられるため、上記ゲートウェイの手法では、宅内すべてにゲートウェイ装置を設置する必要が生ずる。このため 98 年に、衛星通信の送信センターに設置することにより、インターネットから各加入者へのデータ送信速度を加速する「衛星インターネット用 TCP ゲートウェイ」を開発した。

出典：KDD 社史